

土岐市みつば保育園 自己評価票（令和5年度）

A：達成できた、B：ほぼ達成できた、C：一部改善を要する、D：改善を要する

1. 保育の理念・目標・計画・評価

内容	評価	コメント
①園の保育方針を理解している。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの実態や発達段階を把握し一人一人の思いや考えを大切にしたいねらいを立てることができた ・実践の振り返りから、課題や改善点を見出し、次に生かすことができた。
②園の保育方針や目標に基づいて、クラスの年間保育目標を立てている。	A	
③担任間で話し合っ、保育目標を立てている。	A	
④各年齢の発達段階合わせた指導計画は、一人一人の発達にも留意している。	A	
⑤自らの保育を振り返り、向上や改善に努めている。	A	

2. 保育の内容

内容	評価	コメント
①保育や生活の中で「ねらい」や「内容」が達成されるよう配慮している。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・一人一人の思いや考えを保育の中に生かしながら、環境を構成することができた。 ・一人一人と丁寧に向き合い、その子に合った援助に努めることができた。
②子ども一人一人の思いを受け止め、その思いをできるだけ実現させようと努めている。	A	
③子どもたちが日々過ごすための安全な環境や適切な衛生状態に努めている。	A	
④身体的、精神的、情緒的発育等、多面的に子どもの状態を把握している。	A	
⑤保育室の整理整頓に努め、いつも気持ちの良い保育室づくりを心がけている。	A	
⑥行事の計画や実施にあたっては、以前の反省や評価を反映している。	A	
⑦特定の子どもを特別扱いしていない。	A	

3. 保育園の組織・役割分担

内容	評価	コメント
①職場内で連携がとれている（連携をとるように努めている）。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・適切な援助ができるよう、職員間で子どもや保護者の情報を伝えあってくることができた。 ・アドバイスや助言をし合い、連携をとりながら保育することができた。 ・研修の機会に限られるため、自主的な学びへの意識を高めていく必要があると感じる。
②研修への参加や専門書により知識や技能の向上に取り組んでいる。	B	
③職員間で「ほうれんそう（報告・連絡・相談）」ができている。	A	
④職場の中で各職員が自分の役割を自覚している。	A	
⑤保育を良くしたり、業務の効率化を図ったりするような提案が出されている。	B	

内容	評価	コメント
⑥各職員が任せられている仕事は責任感を持ってこなしている。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・任された仕事は、最後までやり遂げることができた。 ・職員会に参加できる職員に限られるため発言が難しい面もあるが、職員間の共通理解はしっかりできていた。
⑦各職員が職員会などで必要と思う質問や意見を発言することができている。	B	
⑧研修で得た内容・成果は他の職員に伝達され、保育に生かされている。	B	

4. 家庭・地域社会

内容	評価	コメント
①保護者に対して、丁寧な言葉遣いと気持ちの良い対応を心がけている。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・降園時に子どもの様子を伝え共感したり、保護者の困り感に寄り添った対応や提案ができた。 ・他機関との連携を密にし情報交流ができると、より子ども理解も深まり、援助の手立ても広がると思う。
②送迎時等に子どもの姿を保護者に伝えている。	A	
③保護者に子どもの伸びているところや課題を伝えるなど連携をとっている。	A	
④家庭との連携を図るように努めている。	A	
⑤家庭環境及び食事習慣等園以外での子どもの状態を把握している。	A	
⑥地域や保護者の意見を保育等に反映している。	A	
⑦他園や関係機関との連携を図り、有効な対応に努めている。	B	
⑧保護者により対応を変えていない。	A	

5. 事務管理・運用

内容	評価	コメント
①個人記録簿は、適切に記載し、整理保管できている。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報に於いては、一人一人が高い意識をもって扱うことができていた。
②園内で知りえた事柄に対して守秘義務は徹底できている。	A	
③金銭等を取り扱う場合、適正かつ適切に処理できている。	A	

6. 総評

- ・これからも温かい雰囲気での保育を心掛け、どの子ども笑顔で降園していけるよう、また保護者の安心感につながるよう関わっていききたい。
- ・保護者の方の困り感に寄り添いながら、親子ともに安心し、成長し合える環境作りを心掛けていきたい。
- ・職員間の連携も良く、良い雰囲気で仕事ができ、心に余裕をもって保育にあたることができた。
- ・周りの先生方に助けていただきながら、働くことの有難さや心も体も健康であることの大切さを学んだ。

•書類の精査に伴い、職員間で子どもについての理解を深めたり、保育内容を見直したりすることで、保育の質向上につなげていきたい。また、資質向上のために自主的な学びへの意識を高め、職員間でも学びの場（機会）をつくっていきたい。